

大石便り

7月号

第2木曜発行
(第1号)

「地域活性の第一歩に」

昨年6月末より『伊達市地域おこし支援員』として、大石地区を担当している樋口健司です。

大石は歴史的な財産が数多く残り、自然に恵まれた地域です。代々伝わってきた伝統も残り、様々な行事や活動をしている人たちがいます。しかし、そういう大石の良さや、他の方部や集落のことを知る機会がなかなか少ないように思います。また、少子高齢化と過疎化が進んでいく中、大石地区としてまとまりの必要性も感じます。



樋口 健司



ざっくばらんな話が飛び交いました

そこで、大石地区の住民の皆さんが情報を共有し、相互理解、大石全体の理解ができるような取組みとして、「大石地区の新聞のようなもの」を考えてみました。住民の皆さんに声を掛け、有志の方々による編集会議を経て、まずは支援員の取材を中心に始めました。追々、皆様からの記事や投稿、意見や提案を募りながら、より良いものに仕上げて行けたらと思います。地元のことを知ること、何かが生まれ、元のことを期待しています。

「大石地区で防災訓練」⑩

6月3日、下大石の三ノ輪・倉波・宮脇・西館・台馬越を対象にした防災訓練が行われました。大雨で土砂が崩れたという想定で、地域の住民が霊山ふれあいセンターに避難しました。

配布された県の資料によると、霊山町の土砂災害危険箇所数は215箇所あり、伊達市内の約42%を占めています。大石地区では、下大石の東側の山間部、北方部と南方部のほぼ全域に危険箇所が多くなっています。

大雨やゲリラ豪雨などの自然災害が増えている現在、日頃から非常時に備えて、準備をしておくことが大切です。



避難先の霊山ふれあいセンターに向かう住民

「惜しくも優勝逃す」

6月下旬、霊山町運動広場で「福島民報杯ソフトボール大会」(ナイター)が行われ、大石地区のニューヤンキース(大橋保男部長・杉菜畑)が出場しました。

25日の一回戦は、泉原ロッドバスターカと対戦し6対4で勝利しました。翌日の二回戦では掛田ジャイアンツに8対4で快勝しました。27日の決勝戦は、上小国イーグルスと対戦しましたが、守備の乱れなどもあり、1対8で敗れ、準優勝となりました。

梅雨の時期の大会のため、雨で試合が一週間順延されましたが、そんな中、大橋悠司投手(杉菜畑)は三連投で頑張りました。



決勝まで勝ち進んだ
ニューヤンキース

「ほれ話：」私が小学生の頃(○十年前)は、網でたくさんホタルを取りました。だんだん減ってきてはいたのでしょうけど、5〜6年前くらいからホタルが少なくなったような気がします(ミ)

季節の便り

「水無月の大祓」㊦

水無月の夏越の祓 する人は

千年の命 延ぶといふなり

(拾遺和歌集)

6月30日、霊山神社で「水無月の大祓式」が行なわれました。境内では、夏に流行る疫病や災難を防ぐことができるかと伝えられている『茅の輪くぐり』で、穢れを祓いました。



8の字を描くように歩きながら茅の輪(ちのわ)をくぐる

足立宮司の講話より(抜粋) 『旅の途中で日が暮れ、宿を乞うた武塔神(むとうのかみ)を、弟

で裕福な巨旦将来(こたんしょうらい)は門前払いしたが、兄で貧しい蘇民将来(そみんしょうらい)は、粗末ながらも出来る限りのもてなしをした。

数年後、武塔神が蘇民将来を訪れた折、茅で作った『茅の輪』を家族全員に授け、腰の上につけさせ、「われはスサノオノミコトである。疫病が流行したら、「蘇民将来の子孫である」と言えば災難は逃れる」と言った。

その後、果たして村に疫病がはやり、村人は皆死んでしまったが、茅の輪をつけた蘇民将来の家族は助かった。

それ以後、村の人々は、「蘇民将来の子孫也」と唱え、茅の輪を腰につけ、疫病から逃れるようになったという(備後国風土記)

「ホタル舞う」



6月下旬から7月にかけて、大石地区でホタルが見られました。下大石地区では祓川沿いで確認でき、大石小プール近くの三ノ輪橋付近がやや多かったようです。南方部では院主く小坂付近、北方部では谷神辺りの河川で確

認できました。現在は、ちらほら飛んでいる程度ですが、昔は、川や田んぼにホタルが乱舞していたそうです。

「ヤマユリ」㊦

7月後半から8月にかけて、湧水の里の管理棟付近に、ヤマユリの群生が見られます。

ヤマユリは日本特有の山中に生えるユリで、風貌が豪華で華麗であることから、『ユリの王様』と呼ばれており、甘く濃厚な香りがします。

以前は、大石の山間部でよく見られ、食用にも使われていたようですが、最近では少なくなりました。



湧水の里に咲くヤマユリ (昨年7月27日撮影)

大石の百花繚乱



下大石ふれあい花壇(阿久津)



西館ふれあいロード(西館)



南又ふれあい花壇(小坂)



広畑フラワーロード(広畑)



なかよしフラワーロード花壇(右代)



北又ふれあい花壇(谷神)

サロン

4月から、社協の「いきいきサロン」制度を利用して、2つ女性のサロンが始まりました。

北方部女性会では、今までの高齢者との交流会を、月一回のサロン活動として始めました。6月は、菅野玲子さん（宮脇）を講師に招いてレクダンスを楽しみました。

下大石ふれあいサロンは、下大石の女性の交流を図りたいとの声に応え、新たなサロンとして立ち上がりました。6月は、ヨモギで草木染を行いました。



レクダンスで楽しく
元気に（北方部）



ヨモギは淡い若草色に（下大石）

交流

6月17日、南方部会婦人部で、テープを使った籠作りが行われ、約30名が参加しました。大橋幸子さん（長畑）の指導を受けながら、籠作りを楽しみました。



お茶飲みも忘れ、夢中で籠作り

紹介

◎霊山ふれあいセンターより

今年の4月より、ふれあいセンターの職員として勤務している大脇尚子さんです。出身は梁川町、現在は保原町在住で、3人の子育てに奮闘中です。

「まだまだわからないことばかりで勉強中ですが、よろしくお願ひします。」

二十四節気

○小暑（7月7日頃）

「大暑来れる前なればなり」

梅雨明けが近付き、暑さが本格的になる頃（温風至く蓮始開く鷹乃学習）

○大暑（7月23日頃）

「暑気至りつまりたる所以なればなり」

快晴が続く、気温が上がり続ける頃（桐始結花く土潤溽暑く大雨時行）



挿絵 鈴木智子（中川地域おこし支援員）

「初めまして、大脇尚子です。気軽に声をかけてください。」

今月のレシピ

みよ蒸しパン

材料

天ぷら粉 300g、白砂糖 300g、
重曹 20g、牛乳 200cc、
食酢 100cc、卵 3個、味噌 50g

作り方

- ① 天ぷら粉・砂糖・重曹を袋に入れてよく混ぜる。
- ② ボールに牛乳・酢・卵・味噌を入れ、よく混ぜる。
- ③ ②に①を入れ、溶けるまでよく混ぜ合わせる（泡がプツプツ出るまで）。
- ④ 蒸し器に四角いクッキングシートを引いて、③を流し入れ、蓋をして、強火で20分、弱火で20分蒸す。
- ⑤ 竹串を通して、生地がついてこなかったら出来上がり。

※ごま、レーズン、フルーツなどを入れてもよい

（ウメ子）

行事予定

7月

- 14(土) 七夕コンサート(霊山中央公民館・大ホール)
- 15(日) 支障木・カーブミラー清掃(交通安全協会)
- 20(金) 第1学期終業式(大石小)

日枝神社例祭(祭礼、奉納行事など)

8月

- 1(水) 楽生会奉仕作業(霊山寺、大善寺)
 - 5(日) 霊山太鼓まつり(霊山中央公民館・駐車場周辺)
 - 12(日) 南方部納涼祭(南方部会館前)
 - 14(火) 北方部納涼祭(北方部運動広場)
- ※下大石盆踊りは開催未定

注：日時や時間は変更になる場合があります

日枝神社例祭(7/20)

田植えが終わって梅雨の明ける頃、稲の成長を祈って行われる「作祭り」が起源と思われる。

午前には祭礼や直会、夜は獅子舞や巫女舞、舞踊の奉納などが行われる。



奉納される獅子舞 (2011年)

お知らせ

◎太鼓の練習

「霊山太鼓まつり」に向けて、大石地区内の各太鼓保存会では練習を行なっています。

■南組(南方部会館)

毎週水曜日(午後7時半～)

■北組(北方部会館)

毎週木曜日(午後7時半～)

■下大石

7月下旬(日時等未定)

募集

◎「大石便り」記事募集!

大石の情報をお寄せください。

○7月中に行なわれた行事・活動

○行事予定(8月中旬～9月中旬)

○紹介(個人、集落、団体等)

○投稿(記事、写真、エッセイ等)

※集落の小さな祭りや、会合で決まったことなど、ジャンル、規模の大小を問いません。写真があると伝わりやすいです。

編集後記

なんとか『大石便り』を発行することができました。初回ということもあって、記事がほとんど集まらず、支援員の取材報告になつてしまいました。情報収集に限界を感じている次第ですが、今後は地元の方だからこそ知っている話や昔話などを記事に出来たらいいなと思います。

私事ではありますが、大石に来てからの一年間、協力員として地元の方との橋渡しをしていただいた高橋トモ子さん、大橋庄信さん、小林節子さんに感謝の意を表したいと思えます。ありがとうございました。今後は、支援員をサポートするボランティアとして、引き続き協力をお願いしているので、よろしくお願い致します。(支)

次号(8月号)は 8/9(木)発行予定

8月号の編集会議は、
★7/27(金) 19:30～

霊山ふれあいセンター
(情報を持って気軽にお越しください。出入り自由の意見交換会です)

★投書箱も設置中
(ふれあいセンター内)

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

8月号
(第2号)
第2木曜発行

「靈山神社で結婚式」②

7月21日、靈山神社で結納式と結婚式が行われました。式を挙げたのは、大橋直幸さん(三ノ輪)と佳奈さん(福島市出身)で、「玉串奉奠(ほうてん)」や「三三九度」などの儀式が厳かに行なわれ、互いの契りを結びました。

新郎の大橋直幸さんは、「地元

の由緒ある靈山神社で結婚式が挙げられたことをとても誇りに思います。忘れられない一日になりました。」と、大石での結婚式に感慨も深かったようです。

自然の木々に

囲まれた靈山神社に、「白無垢」と「紋付羽織袴」

の衣装が映え、式場とは雰囲気の違いが素敵な結婚式になりました。



三三九度で結盃の儀
(巫女役は姪の華歩さん)



新郎のご両親(陽治さん、里子さん)と一緒に記念撮影



神前に向かう新郎新婦と親族

「太鼓の練習」

7月に入り、『靈山太鼓まつり』に向けた太鼓の練習が、各保存会で行なわれました。

石は大石は女性優勢!?



熱の入った北組の練習



合同練習でのちびっこ太鼓(掛田 JA 敷地)



南組は親子で楽しく



号に掲載いたします。)

「靈山チーム2連覇」

7月29日、『県ゲートボール選手権大会』(出場36チーム)が石川町で開催され、靈山チームが優勝し、2連覇を果たしました。(福島民報7月30日版による)

大会に出場した菅野勝美さん(倉波)は「週3回、健康づくりのためにゲートボールをやっているが、試合に出れば勝ちたい気持ちになるので、いい目標になっている。」と話していました。

同じく出場した菅野忠男さん(宮脇)は「県大会に出るのは初めてだったので、優勝できると思わなかった。ゲートボールはチームプレーが大事なスポーツなので、みんなで頑張った結果だと思う。」と話していました。

今後は、8月18日からの『東北地域ゲートボール選手権大会』(秋田県男鹿市)に向けて、楽しみながら練習を続けていきます。

●その他のニュース

「福島民友杯ソフトボール大会」

上小国イーグルス 8-0

ニューヤンキース(大石)

(優勝は中川クラブ)

季節の便り

「E之王のお祭り」

7月20日、『日枝神社例祭』が行なわれ、午前中は神事や直会、夜はさまざまな芸能が披露されました。かき氷よりおでんが欲しくなるような肌寒い夜でしたが、獅子舞や巫女舞、民謡、舞踊、カラオケにどじょうすくい、さまざまな出し物で、訪れた観客を魅了していました。



締めは楽しく盆唄りで



夕闇に響く北又獅子舞の音色

また、大橋盛助さん(広畑)による自筆の「七福神」の絵が日枝神社に奉納され、社殿内に彩りを与えました。



色鮮やかに描かれた七福神

「各地で七夕行事」

7月7日、りょうぜん里山がっこうで『七夕歌声チャリティコンサート』が開催され、さまざまなジャンルの音楽バンドが出演しました。このコンサートで集まった基金は、福島の子どもたちの保養にあてられます。



アットホームなバンドのライブ(里山がっこう)

7月14日は、楽生会女性部による『祈・復興七夕まつり』が、南方部会館で行なわれました。短冊に願いを込めたあと、食事と歌などで、皆さん楽しみました。

同日夕方には、霊山中央公民館で、わくわく遊創塾主催の『七夕コンサート』が行なわれ、霊山中吹奏楽部が出演しました。部員には大石地区の中学生が10名ほどおり、大勢の観客の前で吹奏楽の演奏と合唱などを披露しました。



復興への願いを込めました(楽生会女性部)



福島出身の「涼風」とコラボする霊山中吹奏楽部の生徒たち

花便り



緑生い茂る湧水の里に同時に咲いたヤマユリとアジサイ(2012.8.1撮影)

二十四節気

りっしゅう

○立秋(8月7日頃)

「初めて秋の気立つがゆゑなればなり」初めて秋の気配が現れてくる頃

(涼風至〜寒蝉鳴〜蒙霧升降)

しよしよ

○処暑(8月23日頃)

「陽気とどまりて、初めて退きやまむとすればなり」暑さが峠を越え、後退し始める頃

(綿村開〜天地始肅〜禾乃登)

地域活動

「河川の清掃」

7月1日、大石地区内の各地域で「河川クリーンアップ事業」による草刈りなどが行われました。

三ノ輪集落では、防火水槽の清掃と集会所の水道修繕を行いました。山の斜面で断水箇所を探し出したり、バケツリレーをしたり、農村集落の技術力や団結力を見事に発揮していました。



消防車で水を汲み出した後、残った泥水をバケツリレー

「快適な運転のために」

7月15日、交通安全協会霊山分会による「カーブミラー清掃」と「支障木撤去」の作業が行われました。こうした地道な活動により、環境は快適に保全されています。



中学校跡地周辺の草刈り



きれいに磨いて視界良好

「お寺の清掃」^寺

7月31日、老人クラブ「楽生会」による『社会奉仕活動』が霊山寺と大善寺で行なわれ、猛暑の中、草刈りや掃除で汗を流しました。



右上：霊山寺にて
左上：草刈り作業に
精を出す会員
左下：大善寺にて

お便り

「復興に願いをこめて」

楽生会女性部 大橋芳子

大石の皆様、毎日猛暑続きの中、ご苦勞様です。この度、大石便りが発行され、とても楽しみにしています。

私は今、老人会会員として、心の通じ合える方たちとの交流に、楽しい日々を過ごさせていただいております。今月は、『祈・復興七夕まつり』を祝いました。大震災から一年四ヶ月が過ぎ、一日も早い復興を願い、みんなで心をこめて短冊にお祈りいたしました。会員の斎藤霊子さんには、題字を書いていただきました。最後にみんなで記念撮影をしました。



みんなで元気に過ごしています

今月のレシピ

だし（山形の郷土料理）

材料

きゅうり1本、なす1本、みょうが2本、おくら5本、醤油適量、塩適量

作り方

- ① おくらはサツと塩茹でする。
 - ② すべての野菜を粗みじん切り(3〜5ミリ程度)にする。
 - ③ ②を薄い塩水に5分ほど浸し、水気を切る。(省略可)
 - ④ 器に③を入れ、醤油で味を整えながらかき混ぜれば出来上がり。すぐ食べてもよいが、冷蔵庫で3時間〜半日ほど置けばさらに味が馴染む。
- ※炊き立てのご飯はもちろん、冷奴や納豆、麺類にも合う

アレンジ（お好み）

〔その他の材料〕青じそ、白ネギ、生姜、唐辛子、昆布、その他の夏野菜など
〔味付け〕 麵つゆ、酢、酒など
〔香辛料〕 鰹節や白胡椒など
(支援員のばつぱより伝承)

オリジナルを作ろう!

こぼれ話：伊達町の親戚に聖光学院がキリスト系の学校であることを聞き、「じゃあ、ミッション系ですね。」と尋ねたら、「ミッション系ねえ...。」と首をかしげてました。イメージと違うのでしょうか。(支)

行事予定

8月

10(金) 夏の一斉防犯診断(防犯協会)

12(日) 南方部納涼祭(南方部会館前)

14(火) 北方部納涼祭(北方部運動広場)

盂蘭盆供養(霊山寺)

18(土) 東北地域ゲートボール選手権大会(〜19日)

20(月) 霊山公民館長杯ソフトボール大会

(霊山町運動広場)

27(月) 第二学期始業式(大石小)

9月

10(月) 聖徳太子会(大善寺) ※9日夜はお速夜

16(日) スポーツ吹矢体験教室(霊山中央公民館)

注：日時や時間は変更になる場合があります。

うらぼん 盂蘭盆供養(8/14)

南岳山「霊山寺」で毎年 8月 14 日に盂蘭盆供養が行われます。昔から祖先の霊が里帰りすると言う、仏教では祖先の霊とあわせて受苦の万霊に広く供養が行われます。地方により陰暦 7月 13 日～15 日に行われる所もあります。

一般には、月遅れ(新暦)盆に、種々の供物を祖先の霊に供えて墓参をし、冥福をお祈ります。(精)

お知らせ

◎大石小学校より

夏休みから体育館の耐震工事が始まりました。二学期いっぱい体育館や校庭の貸与はできませんのでご了承ください。来年、新しくリニューアルした体育館をこの期待ください。

◎防犯協会より

夏の一斉防犯診断を実施します。ご協力のほどお願い致します。

○8月10日(金) 午後8時

募 集

◎スポーツ吹矢体験教室

初めての方でも簡単にできるの
で、お気軽にご参加ください。

○9月16日(日) 午前10時

○霊山中央公民館・大ホール

○参加無料

○申込み

※9月10日まで

霊山中央公民館

024(586)1314



編集後記

梅雨も空けて、暑い日が続きますね。三ノ輪在住の支援員は、先月20日は「お祭り」、21日は「結婚式」(取材)、22日は「お葬式」と、3日間で「婚・葬・祭」をいつべんに経験し、農村文化を知る良い機会となりました。

「ロンドンオリンピック」に続き、「夏の高校野球」も始まりです。伊達市の聖光学院を、みんなで応援しましょう。(支)

次号(9月号)は、 9/13(木)発行予定

次号の編集会議は、
★8/31(金) 19:30～
霊山ふれあいセンター

★投書箱も設置中
(ふれあいセンター内)

記事を募集してます!

お詫びと訂正 (前号)

P2 季節の便り
「水無月の大祓」
(誤)「蘇民将来の子孫である」のくだり。

P3 紹介
(誤) 鈴木智子
(正) 鈴木智美

P4 行事予定
「楽生会奉仕作業」
(誤) 8月1日
(正) 7月31日

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

夏祭り・お盆特集

9月号

第2木曜発行
(第3号)



司会を務めた大橋吉成さん
(杉菜畑)

「2年ぶりに太鼓まつり」

8月5日、霊山中央公民館で、『第28回霊山太鼓まつり』が開催され、町内18組の太鼓保存会が一堂に集まりました。大石地区からは3組の保存会(下大石、南組、北組)が参加して、同時打ちなどの太鼓の演奏を披露し、訪れた延べ5千人の観客を魅了しました。ビデオレターでは、西田敏行さんやスマップなどのコメントが流れ、伊達市へ温かい声援が送られました。



大石のみんなで楽しく。即席「オール大石」

下大石は「青」、南組は「紫」、北組は「黄」を基調とした法被をまとい、各保存会の練習の成果を披露していました。また、普段は一緒に演奏することは少ない3組の太鼓保存会ですが、この日は、方部の垣根を越えて、一緒に太鼓や笛を演奏して、楽しく交流を深めました。下大石から参加していた大橋とし子さん(宮脇)は、「暑いので、太鼓祭りに行こうか迷ったけど、来てみたらやっぱり楽しかった。沖縄のエイサーも良かった。」と話していました。準備や後片付けにも、大石地区の方々がボランティアスタツフとして参加し、裏方としてイベントを盛り上げていました。



宴会は、自然に「オール大石」



大石でもエイサー流行るかしら

太鼓まつり写真館



ギャル?もイエーイ



暑くて溶けちゃうよ~



叩かにゃソソソ



若い力で元気よく



漬物も買っぺない



スポーツ民謡も負けず



お囃子隊も頑張ってます



甚句を唄う名人

「ほれ話：ある日、神社の裏で草刈りをする「婦人方」に遭遇。大石便りに載せていか尋ねたところ、「だめよ、勝手に草刈りしてんだから(笑)。」と断られました。こういうのを記事にしたいんですけどね。(支)

「南方部納涼祭」㊦

8月12日、靈山神社下広場で、『第29回南方部納涼祭』が行なわれました。大型トラックを利用したステージで各種の芸能が披露されました。締めは山車を囲んでの盆踊りで大いに盛り上がり、最後の抽選会も楽しみました。

遊びに来ていた中川地区の地域おこし支援員・鈴木智美さんは、「山車がとても風情があり、大橋議員の謎のラップ(合の手)も絶品でした。」と話していました。



山車が映える南方部の盆踊り(上)
鈴木支援員絶賛の良一さんの合の手(右)

「北方部納涼祭」㊦

8月14日、『北方部納涼祭』が行なわれました。運動広場での開催は2年ぶりで、アットホームな雰囲気の中で、各種の芸能が披露されました。

遊びに来ていた石田地区の地域おこし支援員・門馬照さんは、「焼き鳥が美味しくてびっくり。また来年も焼き鳥を食べに来たいです。」と話していました。

普段は閑静な北方部ですが、最後は盆踊りと太鼓で、賑やかな夜を過ごしました。



芸能を堪能する住民(上)
歓待を受ける南方部の来賓(左)

「靈山寺で孟蘭盆供養」㊦

南岳山靈山寺本堂で、8月14日に『孟蘭盆(うらぼん)供養』が行なわれ、檀家の家族約200人が訪れました。

午前10時から、清海大僧正、康海副住職、仁海和尚、薬師寺住職により、『散華(さんげ)供養』などの先祖代々霊の供養が厳かに執り行われました。続いて午前11時から、山王大権現様において『夏越しの護摩祈祷』が行われました。

孟蘭盆供養の始まりは、お釈迦様のお母様の供養が始まりと言われております。(精)



五色の蓮華の花弁をまいて
仏を迎える『散華供養』

二十四節気

はくろ
○白露(9月8日頃)

「陰気やうやく重りて、露にござりて白色となれば也」大気が冷えてきて、露ができ始めるころ頃(草露白く鶴鳴く玄鳥去)

しゅうぶん
○秋分(9月23日頃)

「陰陽の中分なれば也」昼夜の長さがほぼ等しくなる頃

(雷乃収声く蟄虫坏戸く水始涸)
大石では、稲刈りが始まり、杭掛けが見られる頃。

「杭掛け」



どこか人間のようにも

東北地方で見られる稲の自然乾燥の方法。福島には後から入ってきた模様。一度はひっくり返す必要があり、手間はかかるが、天日で干した味は格別。

「大石3チームで優勝争い」

8月20～22日、霊山町運動広場で『霊山公民館長杯ソフトボール大会』が開催され、旧霊山地域の6チーム（大石3、泉原2、中川1）で優勝杯を争いました。

準決勝の第一試合、泉原チームが人数不足で棄権した時点で、ベスト3に大石の3チームが残るという快挙となりました。

準決勝の第二試合は、南方部チームが1人足りないため、菅野勝司公民館長を助っ人として戦いましたが、相手に遠慮したのか、3対20で北方部チームの勝利となりました。



大石地区のチーム同士の戦いとなった決勝戦

決勝では、序盤でリードを広げた北方部チームを、下大石チームが追いかける展開。最後は下大石チームが一点差まで迫りましたが、北方部チームが12対11で逃げ切り、3年ぶりの優勝を果たしました。

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
下大石	4	0	1	1	5	0				11
北方部	2	7	2	1	0	X				12



黄色い声援を送る女性陣

大会MVPには、巧みな投球術で3試合を投げ抜いた大橋一さん（谷神）が選ばれました。



「優勝できて嬉しい。北方部の絆の力で勝てました。」

「焼肉で暑気払い」[㊦]

院主集落有志一同により『焼肉を食べて明日に活！』と銘打って焼肉パーティーを開催しました。今年の夏は特に暑さが厳しく、暑気払いを「やっぺない」の合言葉の下、23名の方が参加しました。今年の夏はあまり雨が降らなかったのに、この日に限って雨が降ったり止んだりして、結果的には野外では出来ず、忠正宅の車庫にて行いました。二次会ではカラオケをしたりして、大変楽しい時間を過ごしました。明日への活力に繋がったと思います。（忠）



一人平均4～500gの肉を食べ尽くしました。「皆で食べれば結構いけるもんだない」

「盛夏の活動記」

夏休み、里山がっこうでは、大石小生徒の宿泊、伊達市の子ども30人を引率して山形県最上町への6日間の交流キャンプ、新潟・佐渡での2週間の保養合宿などを実施しました。また、毎月末には、東京の「青梅の杜」へ2泊3日の保養事業を、10月末までの予定で実施しています。

今、子どもたちに寄り添って出来ることを実践している日々です。子どもたちが多くの出逢いに触れることを願っています。（NPO法人 里山がっこう 高野記）



交流キャンプを行なった伊達市の子どもたち（8/1～8/6『福島っ子キャンプinもがみ』）

こぼれ話：ソフトボールで優勝した北方部チームが、北方部の銀座(どう?)を軽トラでパレードする案が持ち上がりましたが、沿道に観客が50人集まるかもわからないので、この話は立ち消えとなりました。

行事予定

9月

15(土) 伊達市歴史文化講演会『伊達の寺、將軍の寺』
報告「東昌寺と靈山寺」他 (伊達市ふるさと会館)

16(日) スポーツ吹矢体験教室(靈山中央公民館)

10月

6(土) コスキン・エン・ハポン(7・8日・川俣町)

7(日) 南方部会研修旅行

8(祝) 靈山神社秋季例祭

注：日時や時間に変更になる場合があります

コスキン・エン・ハポン(10/6~10/8)

川俣町で行なわれる南米の音楽「フォルクローレ」の日本最大の祭典。パレードやステージ演奏など、川俣町が3日間、南米音楽に包まれます。



(公式サイトより)

靈山神社秋季例祭(10/8)

靈山神社で行なわれる秋の例祭。神事が執り行われた後、獅子舞、靈山太鼓や法螺貝の演奏、竹生嶋流棒術などの奉納行事が行われる。



相馬の武田流陣螺術

お知らせ

◎靈山ふれあいセンターより

センター内に出張図書コーナーを設けています。絵本のほか、手芸・料理・園芸など、中央公民館図書室お勧めの本を、毎月展示していますので、是非ご利用ください。また、『靈山公民館長杯ソフトボール大会』の優勝トロフィーも展示しています。



◎地域おこし支援員より

10月から「地域おこし協力隊」をテーマにしたドラマ『遅咲きのヒマワリ』(フジテレビ・火曜21時)が始まります。興味のある方は、どうぞご覧になってください。

編集後記

『靈山太鼓まつり』のような町を挙げての一大イベントは、全国に情報が発信されます。日々の練習に精進し、質のいい演奏を披露するとともに、出演者やスタッフが一丸となって、イベントを盛り上げていく意識を持つ必要性を感じます。また、多額の助成金や協賛金に支えられていることも忘れてはいけません。「靈山町に太鼓まつりあり」と、全国に知られるようなイベントに成長していつてほしいです。

夏の終わり、「水の神様」である貴船神社をお参りする『雨乞い』の行事が北方部でありました。すると、それまで何週間も降っていなかった雨が、その夜から数日間、堰を切ったように降り始めました。どうやら、十分なご利益があったようです。(支)

次号(10月号)は 10/11(木)発行予定

10月号の編集会議は、
★9/28(金) 19:30~
靈山ふれあいセンター
(記事が不足しています。些細なことでもいいので、情報をお寄せください)

★投書箱も設置中
(ふれあいセンター内)

連絡先

960-0893 伊達市靈山町掛田字段居 45 靈山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp